

第10回 国際協力遺伝病遺伝子治療フォーラム

テーマ

世界の遺伝子治療の現状と国際展開
— 今日本は何をすべきか

当番幹事 衛藤 義勝 (一般財団法人 脳神経疾患研究所/ 東京慈恵会医科大学)

会場 東京慈恵医科大学1号館3階講堂

日時 2020年1月15日(水) - 16日(木)

参加費

一般：3,000円
学生：無料(要・学生証提示)
企業：10,000円

1日目

1月15日(水)

16:00 ~ 18:30

我が国の先端科学技術の展望と国際的競争に向けての戦略

2日目

1月16日(木)

9:00 ~ 18:30

- 第1部 遺伝子治療先端技術 (編集遺伝子治療&ウイルスベクター)
- 第2部 中枢神経系疾患の遺伝子治療
(Adrenoleukodystrophy, Huntington, Rett syndrome, Spinal muscular atrophy 他)
- 第3部 ライソゾーム病の遺伝子治療
(ファブリ病、ムコ多糖症、ゴーシェ病、Neuronal Ceroid Lipofuscinosis等)
- 第4部 血液、免疫疾患遺伝子治療(血友病、免疫不全症等)
- 第5部 筋疾患、感覚器遺伝子治療(筋ジストロフィー症、眼科疾患他)

特別
講演

1. Prof. F. Bosch (第27回 ESGCT President, University Autònoma de Barcelona, Spain)
ムコ多糖症遺伝子治療最新の進歩
2. Prof. H. Büning (ESGCT President, Hannover University, Germany)
AAV 遺伝子治療最新の進歩